

令和5年度障がい福祉分野の ICT導入モデル事業 事例報告

〈法人名〉社会福祉法人 大阪市障害者福祉・スポーツ協会

〈事業所名〉大阪市更生療育センター

事業所概要

サービス種別	障がい者支援施設 【施設入所支援、自立訓練（機能・生活）、生活介護】
所在地	〒547-0026 大阪市平野区喜連西6-2-55
事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none">○脳卒中のご病気や事故による後遺症のある方が比較的多く利用されています○主なサービス内容<ul style="list-style-type: none">* 理学療法、作業療法、言語聴覚療法といった専門的訓練サービス* 復職など、就労に向けた訓練サービス* 高次脳機能面に対する専門的訓練サービス* 地域生活（単身生活を含む）に向けた生活力を高める訓練サービス

I C T 導入の背景・目的

➤ 導入前の状況

- 職員間の情報交換について電話連絡（内線）で行っている

➤ 導入の目的

- 各職員がスマートフォンを携帯し、インカムアプリを導入
同アプリを活用することで日常業務においてスムーズな情報共有
を実現する

導入機器

- 導入する I C T の検討
 - インカムアプリ
 - インカムアプリに対応したスマートフォン

- 導入した I C T
 - インカムアプリ
 - Buddycom(スマートフォンIP無線アプリ)
 - インカムアプリに対応したスマートフォン
 - iPhoneSE (64GB)

I C T 導入の実施体制の整備

➤ 職場内の研修

■ 【導入前】

職員へ導入にかかる概要やルール整備、体制について事前説明

■ 【導入時】

納入業者による職員へのインカム導入にかかる説明会の実施

■ 【導入後】

ルール整備・体制が適切なものかを職員間で確認、改善

効果検証

	導入前 (時間)	導入後 (時間)	削減率 (%)
職員間の情報伝達・情報共有			
支援時の情報連絡、 応援要請など	○ 1件あたりの処理時間 → 5分 ○ 1ヶ月あたりの発生件数 → 約300件 ○ 1ヶ月の当該業務にかかる時間 → 約25時間	○ 1件あたりの処理時間 → 3分 ○ 1ヶ月あたりの発生件数 → 約300件 ○ 1ヶ月の当該業務にかかる時間 → 約15時間	40%

- 「職員を探して連絡する」から「職員へ連絡する」となり、“探す”手間が省けたため、大幅な削減が可能となりました。
- 情報伝達・共有や移動負担（探す手間）にかかる時間を削減できたことにより、利用者へ接する時間が増えたため、支援の質の向上につながったと考えています。